

研究開発の方向性について



株式会社オリジン

証券コード: 6513



常務執行役員 研究開発本部長
杉山 泰之

2022年3月期
第2四半期連結決算説明資料
2021年11月24日

本日の内容

1. 技術を変える

- ・オープンイノベーションの加速
- ・コア技術を基盤とした事業領域の拡大
- ・マーケットインの研究開発強化

2. カーボンニュートラルに向けた研究開発

- ・カーボンニュートラル実現に向けたScope1, 2, 3におけるR&D

3. コア技術の深化と進化、新製品開発の強化

- ・コア技術の深化と進化による技術開発力の一層の強化
- ・新製品売上高比率の向上

4. 最近の研究開発事例(研究開発本部)

技術を変える

・社会的課題解決、顧客価値向上を目指して、取り組みを加速

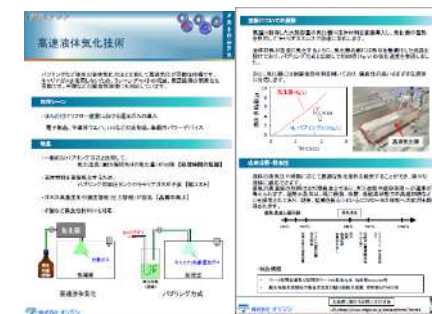
□ オープンイノベーションの加速

- 社内技術・リソース活用によるスタートアップ企業等との連携
- 社内公募制度の運用によるイノベーションテーマの発掘推進
- コア技術の発信による新規案件の獲得



□ コア技術を基盤とした事業領域の拡大

- カーボンニュートラルに向けた技術開発の強化
- コア技術の深化と進化



□ マーケットインの研究開発強化

- 全社注力市場への事業部連携での取り組み



カーボンニュートラルに向けた研究開発

・カーボンニュートラル実現に向けたScope 1, 2, 3におけるR&D

□ Scope 1, 2:

- 中期CO2排出量削減目標に資するR&D
(2030年に50%削減(2015年比))

□ Scope 3:

- 調達・新製品設計時におけるCO2排出量削減
- お客様の製品使用時におけるCO2排出量削減に貢献する製品開発

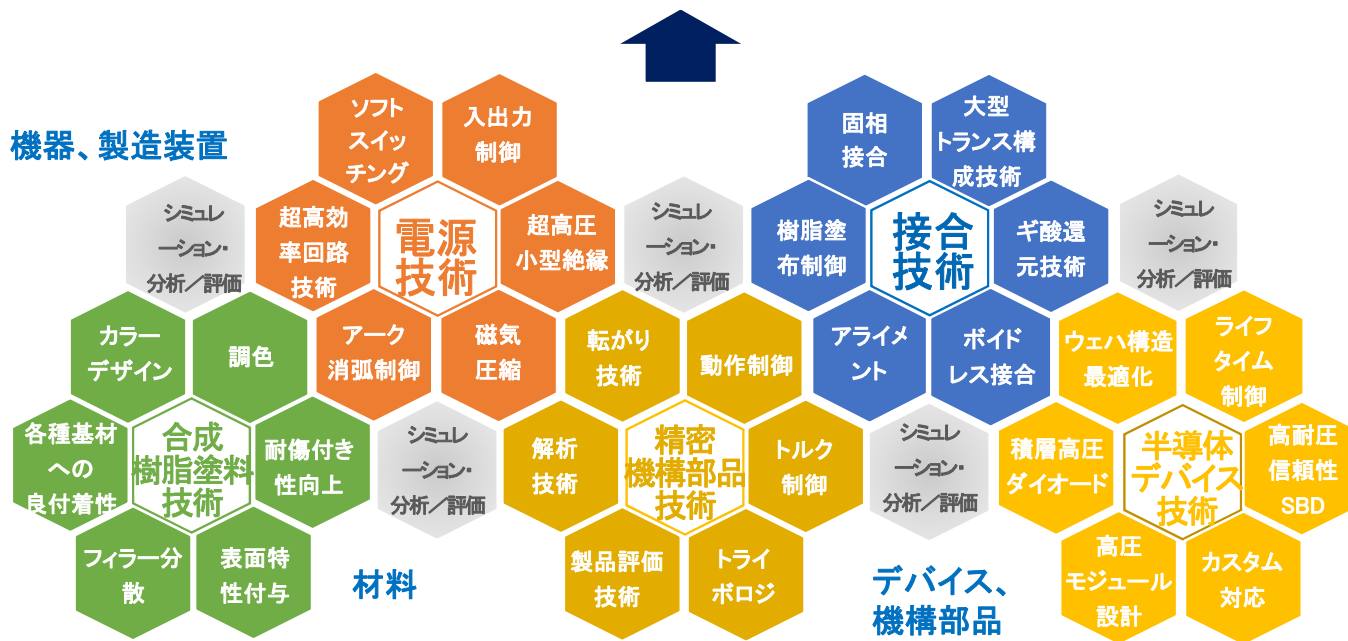


- ・高効率な絶縁型双方向DC/DCコンバータ
- ・塗布時にエネルギー利用の少ない塗料
- ・メカニカルな機構のみで動作する精密機能部品

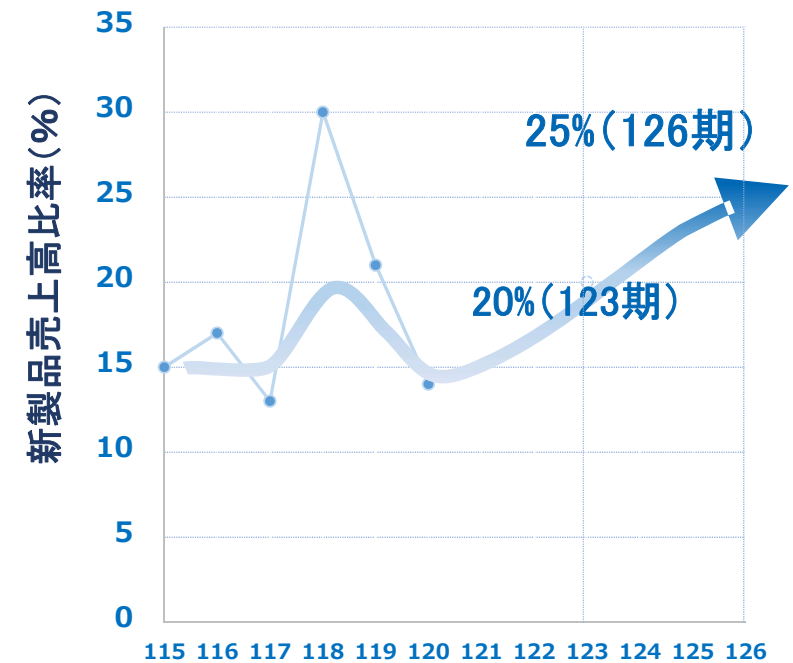
コア技術の深化と進化、新製品開発の強化

- ・コア技術の深化と進化による技術開発力の一層の強化
- ・新製品売上高比率の向上(20%(123期)、25%(126期))

コア技術の深化と進化



全売上高に占める新製品売上高比率



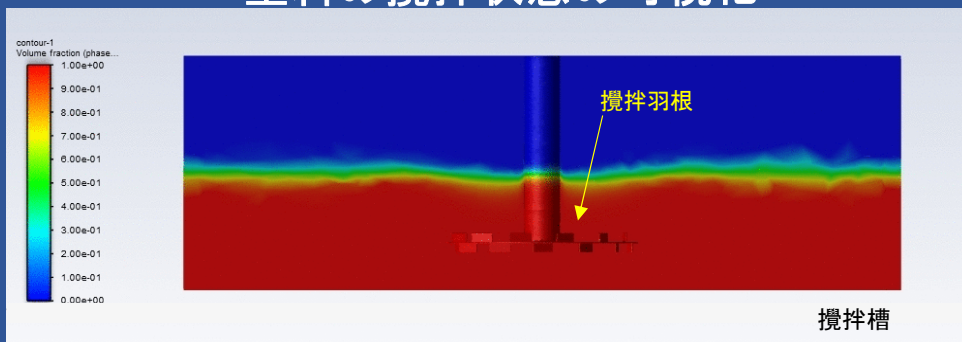
最近の研究開発事例

- ・混相流の流体シミュレーションによる塗料の攪拌状態の可視化
- ・応力、歪の構造シミュレーションによるトルクリミッタのコイルの変形挙動の可視化

シミュレーション

流体シミュレーション(混相流)

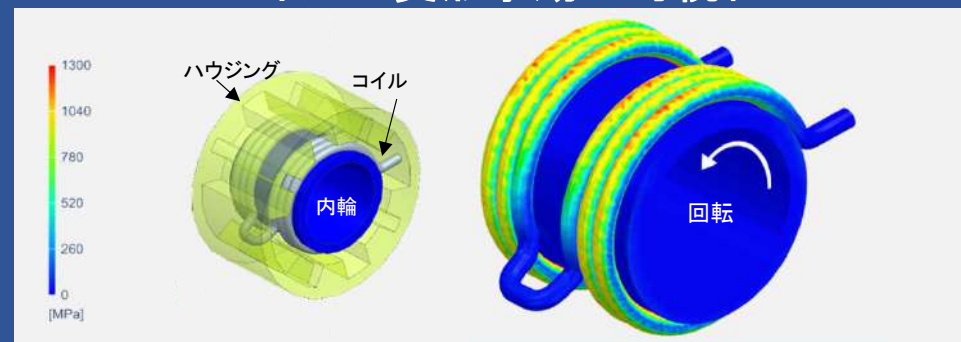
塗料の攪拌状態の可視化



高粘度(赤)と低粘度(青)塗料の攪拌シミュレーション

構造シミュレーション(応力、歪)

コイルの変形挙動の可視化



トルクリミッタの強度解析シミュレーション

技術にこだわり
ニッチ・トツプ
を目指す

